

令和4年度 高千穂町立高千穂小学校 評価書

A：十分達成（80%以上）

B：おおむね達成（70%以上～80%未満）

C：やや不十分（60%以上～70%未満）

D：達成不十分（60%未満）

重点目標①【更なる学力向上】

| 評価指標 | 評価項目・数値目標 | 自己評価 | | 結果の考察 改善策等 | 評価 | 学校関係者評議員 コメント |
|------------------------------------|--|------|----|---|----------------------------|--|
| | | 指標別 | 総合 | | | |
| 1 児童の学習意欲の向上と、わかる・できる喜びを実感できる授業の充実 | ○ 特別支援教育の視点（ユニバーサルデザインの視点）による個に応じた授業を充実します。 | | B | ○ 児童は意欲的に学習に取り組むことができている。また、保護者は児童の成長を肯定的に捉えている。今後も、児童がわかる・できる授業づくりを目指して、個別最適な学びをさらに進め、指導改善を図りたい。 | B B B 無 ↓ B | ○ 学習意欲は、内容がよく分かってくるとわかる喜び、できる喜びで充実し、覚えようとする意欲が大きくなっていくので、これからも指標の授業を続けてもらいたい。 ○ 児童が意欲的に学習に取り組むように、工夫・努力がなされていることが評価できる。児童の学習意欲への向上に向けた取組についての保護者の評価は高い。 ○ 個に応じた授業づくりが実現できているということで、児童のやる気、学習理解への喜びにつながる指導がされている。 |
| 2 校内の主題研究における研究授業を通じた教師の指導力向上の充実 | ○ ICTの活用による指導を充実します。（ICTの利点を生かした授業づくりをします。） ○ 初期研修者の指導・支援を全職員がかかわることで、人材育成並びに自身の指導力向上に努めます。 | | B | ○ ICT活用推進モデル校として、11月には授業公開を行い、本校の取組を他校の教職員に紹介することができた。 初期研修についても、担当職員等が関わり、指導力向上に寄与できた。 | B B B 無 ↓ B | ○ 今の時代、大事なことと思われるが、ICT活用の利点を生かして進めてほしい。 ○ 学年によって取り組みは変わってくるとは思いますが、ICT活用を通じて社会にどういったことに役に立っていくのかなど実用性を示しているのかが気になる。ICT活用の取り組みそのものはとても有意義であると思う。 ○ 授業公開を拝見できていないので、今後見る機会がほしいです。 |

重点目標②【心の教育の更なる充実】

| 評価指標 | 評価項目・数値目標 | 自己評価 | | 結果の考察 改善策等 | 評価 | 学校関係者評議員 コメント |
|---|--|------|----|--|---------------------------------|---|
| | | 指標別 | 総合 | | | |
| 1 人権教育や特別支援教育の充実による友達を思いやる温かい人間関係の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月いじめに関するアンケートを実施し、いじめの未然防止や相談活動に取り組みます。 ○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした全職員による児童理解と支援体制の充実に努めます。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導連絡会やサポート連絡会において、全職員で情報交換を行い、いじめや悩みへの対応を適切に行うことができた。さらに、ケース会を行い、個に応じた支援を積極的に行うことができた。今後、保護者や関係機関と更に連携していく必要がある。 | A B B B 無 ↓ B | <ul style="list-style-type: none"> ○ ご時期的にも今からはマスクの着用においても児童たちの間でマスクをしている人、していない人でいじめの対象となる可能性もあります。そういった懸念も視野に入れたうえで、対応できる体制も必要であると思う。 ○ 毎月のアンケートを実施している事は良いと思う。中々表面には出てこないのがいじめだと思われるので、防止になるだろうし、相談も子どもとしても話しやすくなると思われる。 ○ 子供達の人権教育については充分配慮されており、保護者からも理解を得られている。しかし一方で子供達自身はどう思っているのかについてのデータも知りたい。 ○ 人権教育は子供達の成長過程において重要なポイント。人格形成やコミュニケーション能力に繋がるので、じっくり進めて欲しい。 ○ 多様性についても配慮。 |
| 2 基本的な生活習慣の徹底と、道徳科の時間及び読書等を通した心豊かな活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「高千穂小学校生活のしおり」をもとに、適切な挨拶や廊下歩行等の基本的な生活習慣の徹底を全職員で行います。 ○ 読書環境を整え、読書活動を推進します。 ○ 道徳科を中心に公德心・生命尊重に関する内容を重点に指導します。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつや正しい学校生活等、ほぼ身につけてきている。まだ不十分なことについては、継続的な指導が必要である。 読書活動は十分推進され、個人差はあるものの本に親しむ児童が多くなった。 道徳的な心情を育成するため、授業の充実に努めている。 | A B B B 無 ↓ B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな声であいさつをする子、中にはうつむき小さな声であいさつする子。やはり、明るく大きな声であいさつするのが良い。全体ではいまいちか。 ○ 読書は将来にかけて心の教育になるので、さらに充実するように進めてほしい。 ○ 子供達の読書習慣への取り組みは評価できる。 |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | <ul style="list-style-type: none">○ 子供達も忙しい日々しっかりと基本的な生活習慣が大事。○ 日々、報道による多くの事件を目に耳にするので、生命尊重の学習は親子で共有を。 |
|--|--|--|--|--|---|

重点目標③【体力の向上と食育・健康教育の推進】

| 評価指標 | 評価項目・数値目標 | 自己評価 | | 結果の考察 改善策等 | 評価 | 学校関係者評議員 コメント |
|----------------------------|--|------|----|--|---------------------------------|--|
| | | 指標別 | 総合 | | | |
| 1 体力向上プランに基づいた体育的活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランをもとに、体育の授業の充実に努めている。 ○ 外遊びを推奨し、日常的に体力を高めようとする意欲の向上を図ります。 | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の体力向上については、児童の実態に応じたサーキットトレーニングや課題に焦点を当てた指導を、今後も推進していく。 外遊びは日常化しており、体力の向上が期待できる。今後は、個に応じた外遊びの推奨をさらに進めていく。 | B B B 無 無 ↓ B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童たちは本能的に外遊びを日常化させているので、とてもいい取り組みだと思います。また、体力向上の一環で様々なジャンルのスポーツの外部指導者などによるスペシャルワークショップなどいろいろするのもひとつの案ですね。 ○ ボール投げ、握力等はどんな具合か。外遊びは以前より多くなってきていると思う。自然の中での遊びは大事な事。アドバイスも必要か。 ○ 子供達の外遊び推奨などを通しての体力増進に向けての積極的な取り組みは評価できる。この数年のコロナ禍で、子供達の体力低下傾向が見られるので充分注意して欲しい。 ○ マスク生活の3年間を過ごし、体力向上のやり方も変わってきているのでしょうか。今後、見直していく点もあるのでは。 |
| 2 自他の生命を大事にする健康や性に関する教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい生活様式を考慮し、保護者のニーズや児童の課題に応じた学校保健委員会を開催し、保護者と連携した取組を行います。 ○ 養護教諭による健康や性に関する指導を各学級1回実施します。 | | | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の健康や性に関する指導を進めてきた。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、学校保健委員会を開催できなかった。しかし、感染防止のための消毒や家庭への呼びかけ等を全職員で取り組み、健康で安全な校内環境を整えられた。 |
| | | | | | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--|----------|---|--|
| <p>3 望ましい食育教育推進による健康な生活の充実</p> | <p>○ 栄養教諭による食に関する指導を各学級年1回実施するとともに学級担任以外の職員や支援員と一緒に給食を食べ、望ましい食習慣の形成を目指します。</p> | <p>B</p> | <p>○ 食育に関する指導を栄養教諭と担任が連携しながら計画的に指導を行うことができた。残食はほとんどなく、時間内に食べ終えることができた児童が多い。望ましい食習慣について、家庭への啓発を今後も進めていく。</p> | <p>B B B 無 ↓ B</p> <p>○ 「残食はほとんどなく、時間内に食べ終えることができた児童が多い。」⇒とても素敵な取り組みの効果ですね。 ○ 健康な生活を支える上で食生活は重要なものだから、食育に関する指導は大切なもの。家庭での食習慣はどの位改善されているのか、又朝食をとらない子は、どの位いるのかと思う。 ○ 栄養指導と共に、食べる楽しみをしっかりと感じられる時間に。 ○ 家事への積極的参加推進を通じた食育教育も進めて欲しい。</p> |
|--------------------------------|--|----------|---|--|

重点目標④【家庭や地域との連携】

| 評価指標 | 評価項目・数値目標 | 自己評価 | | 結果の考察 改善策等 | 評価 | 学校関係者評議員 コメント |
|--|--|------|----|---|---------------------------------|---|
| | | 指標別 | 総合 | | | |
| 1 積極的な情報発信・情報共有等による社会に開かれた教育課程の実施 | ○ 新聞等への児童の作品の投稿、ホームページやマチコミによる情報発信をします。また地域の方々の協力・理解を得ながら地域に関する学習を実施します。 | | B | ○ HP、マチコミによる情報発信をこまめに行ってきた。地域に関する学習を、外部講師に依頼することで、外部講師と連携を図りながら授業をすることができた。 | A B B 無 無 ↓ B | ○ 今は手軽に情報発信ができる時代ですので、マチコミのこまめな発信はそれぞれの活動を円滑に効率よくできます。今年度は、とくにマチコミの情報発信が充実しているように感じました。 ○ 良くやられていると思う。情報発信、共有は、最近特に重要だと思う。又、新聞、ラジオ等への児童の作品投稿は、各児童の自信にもつながると思っている。 |
| 2 地域人材の積極的な活用や幼稚園・保育園等及び中学校・高校との連携による、つながりのある教育の推進 | ○ 新しい生活様式に対応しながら、地域人材と協力してふるさと学習を実施します。 ○ 町福祉保険課・町教育委員会等と連携を図りながら、幼稚園や保育園、中学校、高校と連携した教育活動を行います。 | | B | ○ 地域の方の協力を得て、伝承活動や地域学習を進められた。今後は、総合的な学習の時間の見直しを図り、キャリア教育・地域学習を更に推進していく。 幼保小中高との連携をより積極的・組織的に行っていきたい。 | B B B 無 無 ↓ B | ○ 地区には、色々な様々な分野で活躍されている方々が多い。人材が豊富と思う。文化を伝え、職業の内容を知る等、良いと思う。 又、たまには個人の人生体験の話の場等も行ったらどうだろうか。 ○ 子供のほとんどは高校(もしくは中学)卒業後に故郷を去って行くと思うので、小、中学校の頃に故郷の歴史やすばらしさを地域の人達の協力も得て教えてほしい。 ○ 少子化の進むなか他校、高校との連携を取り、地元の良さ、魅力を感じとることにもつながって欲しい。 ○ コロナ禍の中で実施出来なかったが、総合学習を通して、地域や高校生との交流を経験出来た。今後一層の積極的な児童の参加に期待したい。 |

重点目標⑤【教職員の資質向上】

| 評価指標 | 評価項目・数値目標 | 自己評価 | | 結果の考察 改善策等 | 評価 | 学校関係者評議員 コメント |
|------------------|---|------|----|---|---------------------------------|--|
| | | 指標別 | 総合 | | | |
| 1 指導力向上のための研修の充実 | ○ 互いに授業を見合ったり、指導法の情報交換をしたりすることで、一人一人の指導力の向上を目指します。 | | B | ○ 研究授業の機会に授業を見合うことはできた。また、日頃から指導法の情報交換はできていた。今後、さらに授業を見合ったり、情報交換したりできる環境づくりをしていく。 | A B B B 無 ↓ B | ○ 教職員同士の情報交換は、とても大切ですね。また、児童に対して個々に寄り添ったかたちでの指導が望ましい。 ○ 確かな学力を付けさせる為、どうしても向上していくのか、やり方は？先生同士の情報交換は最も必要だ。良くやられていると感謝している。 ○ 情報の交換により共有することができるので、是非そのような環境を作り上げて欲しい。 ○ 児童生徒と接触時間を多く確保することが何より個を引き出すことにつながる。 |
| 2 ワークライフバランス | ○ 教職員一人一人が自分の労働時間を意識して働くことで、余暇の時間を充実させ、さらに魅力ある人間になるよう努力します。 | | B | ○ 業務を、さらに組織的に分担したり協働したりすることで、個人の労働時間を軽減し、より魅力ある人間となるように、働き方改革を推進していく。 | A B B B 無 ↓ B | ○ いわゆる働き方改革ということで、児童たちとはいえ先生方も人間ですので、お互いのストレスがない状態つまり win win の関係をつくっていくことはとても大切ですね。 ○ 教職員の方々の労働時間が多いと言うのが、ラジオ、テレビ等で報じられて来た。分担したり、共働したりして時間を少しでも短くし余暇の時間を作ってもらいたい。働き方改革、必要だろう。 ○ 現在、教職員のワークバランスが最も重要課題と思われるのでその改善に一層の取り組みを期待したい。 ○ 先生方にも仕事、プライベートの時間を楽しんで欲しい。その姿が魅力となります。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | <p>○ 校内 LAN の充実に より無駄を省いて、労 働時間の短縮を図るこ とに期待したい。</p> |
|--|--|--|--|--|--|---|